



週)報

2012~2013年度))) R I会長)田)中)作)次)
『奉)仕)を)通)じ)て)平)和)を』)
)))))))))第 2570 地区ガバナー)鈴)木)秀)憲)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)若松泰誼) 会長エレクト)栗原憲司))副会長)山室博美))幹事)稲見)淳

【第 3 グループ内の例会日】 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 953 回(6 月 25 日)例会の記録

点 鐘 若松泰誼会長
合 唱 我らの生業
第 2 副 S A A 古谷君、浜野君

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35 名	26 名	74.29%	91.43%

会長の時間

若松会長

「既に目は世界を向いていた」

皆さん、今回で私の最後の「会長の時間」となりましたが、最後までよろしくお願ひいたします。その最後にと感じていたのは、狭山市に非常に関係のある方のお話でございます。その方はある会社の創業者で小さい会社の時から世界に目を向けて常に夢を抱いていました。

ここまで来ますと「あっそうか」と言う事でお分かりのように、その方とは本田宗一郎さんの事です。

宗一郎さんのエピソードは数々ありまして、本で皆さんもご覧になっているかと思いますが、今日は本には掲載していない ある裏の一面をご紹介させていただきます。

まず、宗一郎さんは何故世界に目を向けていたかですが、当時の世界人口は 45 億人でした。日本一ではたった 1 億のお客様にしかいい商品を提供できないところからの発想です...これは創業当時の会社(アート商会)の中で「“世界的視野に立つてものを考えよ”と言ったら噴き出した奴がいた」と言われていて社内では有名な話です。そうですよね、町工場の親父がいきなり世界的視野に立つて...と言われても噴き出して当然かもしれません。

宗一郎さんが従業員の皆さんへ口癖のように言っていたのは「人命第一」という哲学的な方針がありました。それは車を作る工程の中で身体に害があってはいけないという事です。

ルーフ(屋根)とボディーサイド(横のデザイン外板面)の接着で「これをやったのは誰だ!」研究所の若いエンジニアが急遽 宗一郎さんの元

へ、新幹線に飛び乗り、鈴鹿へ急いだ。鈴鹿では大勢の前でいきなり「君は人を殺すのか」、「ハンダは鉛と錫の合金で鉛の粉塵は体に悪い。それを長く吸っていると作業者の人命にかかわる」実はこのような凄いカミナリは当時の研究所内では年中落ちていまして、このこだわりの凄さは後に「安全なくして、生産なし」というフィロソフィーになっていると聞いております。結果、ボディーはスポット溶接による結合によって無公害となり、瞬時にボディーを結合する事によって、軽量且つ、より剛性が上がり、溶接打痕は帯状のゴムで隠しています。



実はこの技術は 40 年前以上にカミナリが落ちて出来た事実ですが、20 年間の特許が解けて現在はどうでしょうか、皆さんの車にも適用され、今では乗用車の 90%以上が採用しています。

実はこの技術による他にも良い事がありまして、当時のトヨタさんのある首脳が「あんな格好の悪いのは・・・」と不人気でしたが 今ではトヨタさんは勿論どこのメーカーも採用しています。そのいい事とはコストダウンにも大きく貢献している訳です。

「人命第一」の原点から「安全なくして、生産なし」の哲学を持った信念から安全な車が出来、そして世界中のメーカーが世界中のユーザーへ提供しているのは喜ばしい事です。私も製造業の責任者として日頃から安全については、かなり気を配りながら現場を見ております。



ソードと言えども他にも沢山ありますが、その中でもホンダさんの社員もあまり知られていない事実をお話します。

まず、当時の通産省、いわゆるお役所は絶対的な権限をもって日本国内の民間企業へ指示しその管理を行っていました事は皆さんもご存知ですが、その通産省にまつわる数ある中から2つお話をさせていただきます。

始めは、現在、日本国内に輸入バイクが沢山走っていますけど 実はこの輸入解除をしたのは宗一郎さんの一言から解除になりました。

当時の通産省は国内企業保護の為、バイクの輸入を禁止していましたが、宗一郎さんから「オートバイを輸入しろ、輸入して外国製品と競争していくと日本のオートバイメーカーがちゃんとしたモノを作るようになる」

通産省の言う事と全部反対のことをやってきたのだから現在の本田技研があると関係者は言いますが、もう一つ通産省絡みですが、

今、皆さんの車は何色の車に乗っておられますか？ 今でこそ、好きな色を選んで乗る事が出来ますが、1960年頃、ホンダはスポーツカーをアメリカ市場へ売る為、Sシリーズの一つとしてDOHCエンジンのS500を開発していました。しかし、塗装色に問題が発生しました。宗一郎さんは通産省へ殴り込み、「好きな色を塗って何が悪い」それは当時、赤は消防色、白は緊急車両色、黒は要人車両色と区別があり、一般車両の色はグレー、茶、モスグリーン、の様に暗そうなイメージしかありませんでした。

スポーツカーは赤、黄色、明るいグリーン色というのは今でこそ当たり前ですが、当時の日本ではそれが出来なかった環境でした。 そんな身近な事も進化させた宗一郎さんでした。



他にも沢山ありますが、宗一郎さんがヨーロッパへ視察に行った時、イギリスのマン島TTレースに出るため、精度の高い機械を購入しました。当時の本田技研さんは資本金 1500 万円と聞いておりますが、買った機械は輸入手続きを入れて何と約3億円。「役員、従業員はどうするんですか」と罵声がありましたが、実際それでTTレースで日本メーカーとして初めて優勝しました。実は今でも栃木の研究所にちゃんとその機械がありまして動いています。

いろいろとお話させて頂きましたが、最後にこれだけは話しておきたいと思います。本田宗一郎さんは没後20数年を経ち、現在でも最も人気のある経営者の一人であります。叩き上

げの成功者であるだけでなく、あけっぴろげで人間に対する温かみが宗一郎さんの生き方を感じ取れるからだろうと思います。

口をついて出る言葉には「寸鉄人を射る」ところがあったが人間への優しさがにじみ出ていた。宗一郎さんはこうも語られています。「私のやった仕事で本当に成功したものは全体のわずか1%に過ぎない」と。その上で「99%は失敗の連続であった」と続け、「その実を結んだ1%の成功が現在の私である」と言われています。

それで終わりではありません。彼はこう結論付けています。「その失敗の陰で迷惑を掛けた人達のことを、私は決して忘れないだろう」と。

成功におごらない誠実さが伺えますね。これが人気の秘密だろうと私は思います。



これで会長の時間を終わりますが、1年間、私の「会長の時間」にお付き合い頂きまして誠にありがとうございました。

これをもちまして卒業させていただきます。

幹事報告

稲見幹事

1. 国際ロータリー1・2・3ゾーン、SAKUJI 作戦と会員増強維持セミナーについて
2. 会長エレクトのR財団寄付について
3. R新補助金リソースについて
4. 米山記念奨学寄附金納入明細票について
5. 米山記念奨学生世話クラブ感謝状について
6. 次年度役員・理事のお知らせについて
所沢西RC 所沢東RC 入間RC 入間南RC
7. 例会変更
入間南RC 飯能RC 所沢東RC
8. 受贈会報
入間RC 入間南RC 所沢西RC 狭山RC
9. 回覧物 ハイライトよねやま159
狭山市交通安全対策協議会総会資料

お話をさせて頂きましたが、横に座っていたガバナーとも「これが本当のロータリー活動だ」と、会員がいて奥さんがいて、子供がいて、その孫がいてという形が、鈴木ガバナーにとっては非常に印象深いと喜んで帰られましたことを報告させて頂きます。

また先日、今年度の植樹のためモンゴルに行ってきましたが、今回の行動は来年の国際奉仕の事業の一環でございます。モンゴルの気候の関係で、どうしても前もっていかなければ動きがとれないということ、本当はもう一月早い方が良いとの話でした。次に行かれる方は5月に計画をして頂きたいと思いますが、5月に行くことが一番良いのだそうです。ここまで続いたらやりきるしかないという思いと、幹事報告にもありましたように、マッチング・グラントも柴田さんの積極性と稲見さんの緻密さ、吉松さんの鷹揚としたゆったり感で、モンゴルの方たちの信頼を大きく得られ、事が実に速やかに進んでおります。実はフレロータリーはマッチング・グラントで世界一になったことがある、そうした実績の持ち主のクラブで、あそこに行ってから我々は書類の不備を指摘される等、これだけは強く言おうと意気込んでいたことも全部腹にしまいこみ、黙っていて良かったと思う出来事もたくさんありました。

皆さんのおかげで、1年間無事に過ごすことができました。私個人と致しましても、初めてするような勉強を真剣に行ったという気がして、今満足でいっぱいです。本当にありがとうございました。

稲見幹事)

振り返りますと、幹事として1年間やってきたわけですが、会長の話やリーダーシップが素晴らしいので、本当に大した苦労もなく淡々と事業をこなせました。江原さん、益子さん、佐藤さん、そして皆さんにも本当にご協力頂いたお陰だと思っております。中谷さんの増強も本当に素晴らしかったです。寶積先生にも何人かご紹介して頂き、これも総力戦だったのですが、とにかく今日6名の会員増強ということで、RIから表彰されたということ、若松年度にとっては本当に嬉しいことではないかと思っております。昨今、どこのクラブも会員が減っているという中で、この沢山のクラブがある2570地区で1位になったということは、今年は増強が一番良かったのではないかと思っております。

そしてモンゴルは26名で行ってきました。先日4名で行ったときには本当につまらなかったのですが、26名で行ったときには歌を歌ったり、和気



あいあい、バスの中も楽しく過ごしました。嫌々行った4名のときには、空港に着いたら向こうから飛行機が飛び立っていないものですから、そこで夜の9時まで足止めで、やることもなくずっと飲んでばかりおりました。そして拳句の果てに乗り込んだら途中で気持ちが悪くなってしまい、燦燦たるものでした。そして行ってもやることはマッチングの事だけで、観光なんてものは全く致しませんでした。これでマッチングが上手くいかなかったら困ると思い、たまたまガイドのブルガさんという女性が、日本語もでき、お父様が芸術家、お母様が検事だとおっしゃっていましたが、非常に頭が良かったので、そのガイドさんにフレロータリーにこのように指導してくれ、モンゴル語で我々の言いたいことを全て箇条書きに致しまして、翌日のフレロータリーとの会議に備えましたが、ナラさんという女性がいるのですが、彼女に「稲見さん、これは文章が違います。これでは申請書になっていません。」と言われました。これは何故かといいますと、我々が初めに行ったときに文言を交わした訳ですが、それは英語ではなくモンゴル語の少し変わったようなスペルのものがあったものですから、それを英語に直すときにスペルがかなり間違っていたのにも拘らず誰も気が付かなかったもので、行った途端にそれを全て指摘され、これでは通じないということ指摘されました。先ほど会長もおっしゃっていたように、モンゴルはマッチングでかなり補助を受けている国ですので、フレロータリークラブも本当に精通しているわけです。そしてナラさんがマッチングのプロデュースをしているということで、先日斉木さんとメールでやり取りができるようになりましたので、来年の5月に行く時にはマッチング・グラントは成立していると私は確信しているところです。来年は5月に行くことになると思います。栗原会長年度になりますので、栗原会長と柴田さんとで上手く行って頂き、私もその次の時に会長になりますので、その時には行きたいと思っております。

一年間、幹事として皆様に色々お世話になりましたが、来年一年一生懸命勉強をして、次年度に備えたいと思っております。ありがとうございました。

中谷会員増強委員長)

皆さんの絶大なご支援、ご協力がありまして、今年度の会員増強、素晴らしい成果をあげることができました。改めて御礼申し上げます。

この増強の成果を振り返りますと、第一に会員の皆さん全員の意志と熱意が強かったということ、二番目には、今年20周年を控えておりましたので、それに対して皆さんの気持ちが一つになり、



増強を頑張れたということ、三番目に、増強に対して皆さんが一丸となって推進していったということ、その結果 5 名の方の入会という形になったと思っております。

年頭の東さんを始めまして、5 名の方、6 名増強ということで、RI からの表彰を頂き、非常に光栄に思っております。しかし私はここで掛け声をしただけでございまして、皆さんのこの力が結集し、こうした結果になったのだと思っております。

増強に関しましては、最初に 10 名という目標を立てましたが、数字的には届きませんでした。しかし今年に入り協議会を開きまして、4 ヶ月程度しかありませんでしたので、それから思えば仕方がなかったのではないかと思っております。この残りは次年度の会長であります栗原さん、そして増強委員長をされます古谷さんに託したいと思っております。そのためには我々全員がまた一丸となって、古谷さんをサポートして行かなければいけないと思っておりますので、皆さんも宜しくお願い致します。一年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

益子クラブ管理運営委員長)

一昨年の会員増強委員長をしておりました。残念ながら一昨年は一人も増やすことができませんでしたが、今年度 6 名増えたこと、とても嬉しく思います。

私的には今年、親睦委員長ということで、モンゴルの旅行や数多い夜間例会、20 周年パーティー、そして先日行われた最後の夜間例会等、入って 4 年目になりますが、これだけ多くのイベント、事業に関われ、色々な方とも親しくして頂き、本当に良かったと思います。来年度はプログラム委員ということで、また例会を支えていく一員として頑張らせて頂きますので、来年も宜しくお願い致します。



佐藤プログラム委員長)

この 1 年は、皆さんのご協力の下で、スムーズにプログラムを進めることができました。無い、無いなということは全くなく、非常に良かったと思います。1 年の中で特に思い出といたしますのは、やはり女川に行きましたときに、商工会議所の青山さんに話を聞いて、皆で涙をし、非常に感動をし、すぐに会長に青山さんを呼びたい



と相談をしましたところ、会長もそうだなと言って下さり、私も感動をするとすぐに行動に移してしまうものですから、とても燃えました。

青山さんにここへ来て頂き、たくさんの方に話を聞いてまた感動して、東北に支援をと皆さんにもまた振り向いて頂いたということは、私としてはとても嬉しいことでした。そして 20 周年パーティーのことで、皆さんとその前にスカイツリーに行き、浅草ロック座の中で虎姫を見た時には、非常に感動致しました。これもまたなんとかもう一度呼びたいということで、会長に話しましたところ、すぐに決めて頂きましたので、これは動かなければということで親睦である益子さんに話をしたところ、益子さんはすぐに「大丈夫だよ」と言ってくれまして、益子さんの天才的な計画性、プログラミングに驚き、虎姫も非常に面白い企画であったと思います。

そして増強委員長中谷さんがここで一瞬、我々に火をつけてくれたことで、そしてその火で何とか動こうと、皆が動いたということは、中央ロータリーの素晴らしい底力、団結力、結束力を感じましたし、プログラム委員長としても、凄いな、このクラブは色々なことができると、他のクラブを聞くとマイナスのイメージしか聞こえてきませんが、中央は非常に前向きで、どんどん前に行くクラブだということ、私も 5 年目になりますが、本当に入ってよかったと思います。こんなに素晴らしいクラブはないと、誘って頂いた柴田さんに感謝しております。

来年は社会奉仕に命名をされております。命名をされたからには、頑張っていきたいと思っておりますので、皆さんのご協力をお願い致します。本当に一年間楽しく過ごせました。ありがとうございました。

小島社会奉仕委員長)

社会奉仕委員長として、メインの仕事がありましたが、フリーマーケットは前年度できなかったということで、2 年分の品物も揃い、天候にも恵まれ相当売り上げも良かったので、胸をなでおろしております。女川にもその売上金を少しですが支援することができ、役を承って結果がでたことに対して、喜んでおります。来年は益子さんの後に親睦ということで、今非常に緊張しておりますが、色々皆様にご協力を頂き頑張ってまいりますので、宜しくお願い致します。一年間ありがとうございました。



栗原(憲)会長エレクト)

一年間会長エレクトとして、若松会長の隣に座らせて頂き、色々勉強をさせて頂きました。20周年ということで、若松年度がたくさんの方の事業をこなしているのを横で見せて頂き、大変感銘致しております。



会長エレクトとしてこれと言った仕事もなく、一年間気楽に横に座っていたのですが、来週から、歴代の会長さんを見習い、狭山中央ロータリーの会長としてしっかりやっていきたいと思っております。皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。また役員になられた方には、一年間色々とお迷惑をかけてしまうかと思っておりますが、ご協力を頂き、色々な行事をこなしていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

江原 SAA)

若松年度の SAA をやらせて頂き、本当に行事、多々ある中で、若松会長を始め、稲見幹事、そしてまた各委員長の皆様のご協力を頂きまして、何とか無事にここまで来ることが出来たと思っております。また新たな仲間も増え、次年度、そして先々の会員の増強も、是非とも皆様に心掛けて頂き、より多くの仲間を増やして頂ければ幸いです。



私はここのクラブにお世話になり、今まで色々とお話を伺っていたロータリークラブと本当はどちらが真の姿なのかと、良く分かってはおりませんが、ただこちらのクラブに在席させて頂き、私も佐藤さんと時を大体同じくしてこちらに入会し、益子さん、小島さん、そして少し先輩に中谷さんがいらっしゃいますが、本当に楽しい思いを色々お積みさせて頂いております。そして色々な経験もさせて頂いておりますし、各先輩方からの色々なお話も頂いて、全く違う職種の中で、多くの方々から色々なお話を頂いて、本当に勉強になることがたくさんございます。

今年は SAA というお仕事をさせて頂きましたが、本当に皆様のご協力があったからこそなすことができたと思っております。次年度は是非と

もまた皆様のご協力の下、更に仲間が増えること、また色々な物事が、お互い協力をしあい、一つ一つこなしていければ幸いです。一年間本当にありがとうございました。そして若松会長、本当に色々とお指導ありがとうございました。来週から栗原年度が始まりますが、皆様ご協力を宜しくお願い致します。



- 若松君 皆さん！一年間ありがとうございました。お陰様で一年間乗り切ることが出来ました。
- 稲見君 幹事として一年間、皆様にお世話になりました。ありがとうございました。
- 江原君 若松会長、稲見幹事他会員の皆様のお力添えもあり、何とか若松年度の SAA を終えることが出来ました。本当に皆様、ご協力ありがとうございました。
- 浜野君 済みません、早退します。
- 小島君 若松年度への皆様のご協力ありがとうございました。フリーマーケットが大成功に終わり、社会奉仕委員として大変感謝申し上げます。
- 片山君 若松年度、最後の例会に所用で欠席して申し訳ありません。
- 栗原(憲)君 会長エレクトとして一年間オツ和になりました。次年度もよろしくお願い致します。
- 野口(建)君 若松年度役員の皆様、一年間ご苦労様でした。
- 沼崎君 若松年度本日で「完了」おめでとうございます。20周年記念行事、5名の新会員、モンゴル植樹など素晴らしい実績に改めてお祝いを申し上げます。
- 若松君、吉松君、柴田君、稲見君 モンゴルにマッチング・グラウンドのために行ってきた。まずまずの成果がありました。来年度からの補助金が出るというのですが。

次の例会

7月9日(火) 12:30~13:30

モンゴル植樹報告

第2副 SAA 小島君 小室君